

伊藤 正子 議員



## 問 町の将来について

### 答 当面は単独での行政運営

平成時代も30年、五霞町もさまざまな施策・事業と歴史を重ねてきた。圏央道五霞IC開通、IC周辺開発と町の姿も大きく変わろうとしている。人口が減っていく中で町の将来について問う。

問 人口増対策は。

**政策財務課長** 移住・定住人口及び交流人口の増加を図るため、祝金等給付に関する事業・福祉等相談窓口・IC周辺開発・道の駅の取り組みなど、PRと併せそれぞれ調整していきたい。

問 合併についての考えは。

**町長** 当面は単独での行政による運営を行っていく。合併をしなくても、積極的に近隣自治体との広域連携を図っていきたい。



工事が進む進出企業

五霞町はポテンシャルの高い自治体と自負している。財政規模が小さいことから、さまざまな事業に財政投資をしていくのは難しいが、町の将来を見据え

て「選択と集中」を理念として、住民の皆さんにご理解・ご協力をいただいで、合併をしなくても魅力的なまちづくりを進めていきたい。

## 問 教育について

### 答 小中一貫校 学習効果が上がれば選択肢の1つでは

町には義務教育課程しかない。人生で一番大切な時期であり、教育基本法では、教育は人格の完成を目指し、社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行うことがうたわれている。町の発展・少子化克服のため教育の抜本的改革が必要では。

問 町の教育に対する考えを問う。

**教育長** 町の教育の基本方針は「家庭・学校・地域」三位一体の教育の推進です。

問 発達障害のある児童・生徒への対応は。

**教育次長** 適正な教育支援を行うため、医師・学校関係者・児童福祉関係者から組織される教育支援委員会を設置している。本人・保護者の希望により、専門性の高い支援を必要とする児童・生徒については、特別支援学校へ就学先を決定している。

問 小中一貫校への移行の考えは。

**町長** 人口減少・少子化が進む昨今、五霞町にとって、どのような教育のあり方が最もよいのか、

小中一貫教育を取り入れることで学習効果が上がるのであれば、それも選択肢の一つではないかと考えている。

